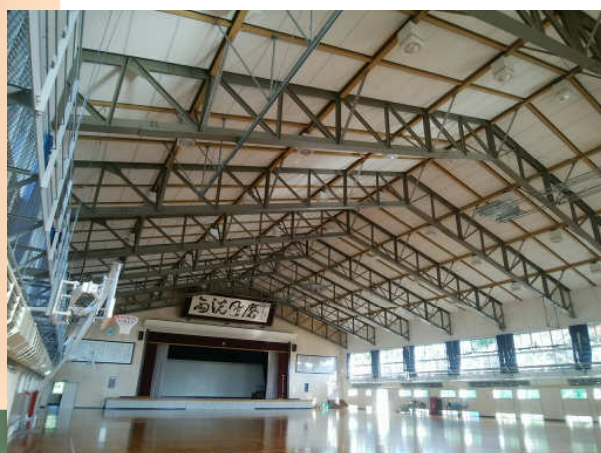




平成30年度横手市優良工事表彰



平成 30 年 7 月
横 手 市

表紙：平成30年度横手市優良工事表彰写真

左上 増田まんが美術館まんが展示室

右中 横手南中学校屋内運動場

左下 市道月山神社線

横手市優良工事表彰式

日 時 平成30年7月26日（木）
午前10時～

会 場 条里南庁舎 講堂

次 第

1. 開 式
2. 審 査 報 告
3. 表 彰 工 事 紹 介
4. 表 彰 状 授 与
5. 市 長 あ い さ つ
6. 受 賞 者 あ い さ つ
7. 閉 式

目 次

1. 平成30年度横手市優良工事表彰一覧表	1
2. 表彰工事の紹介	
平成29年度 市道牛ヶ沢猿田線舗装工事	2
平成29年度 市道西原駅北線道路改良工事	3
平成29年度 市道木下中村線舗装工事	4
平成28年度 市道月山神社線道路美装化工事	5
平成29年度 前郷墓園伐開整地工事	6
増田まんが美術館大規模改修工事（建築工事）	7
増田まんが美術館大規模改修工事（機械設備工事）	8
平鹿地域多目的総合施設建設工事（機械設備工事）	9
平鹿地域多目的総合施設建設工事（地中熱設備工事）	10
旧大雄中学校校舎等解体工事	11
平成29年度 平鹿石成地区管渠築造工事	12
平成29年度 横手伏山・六ノ口地区管渠築造工事	13
横手南中学校統合大規模改造工事	14
3. 横手市優良工事表彰要綱	15

平成30年度横手市優良工事表彰一覧表

番号	工 事 名	施 工 業 者	監 督 課 (発注課)
1	平成29年度 市道牛ヶ沢猿田線舗装工事	横手建設株式会社	建設課
2	平成29年度 市道西原駅北線道路改良工事	ミノル工業株式会社	建設課
3	平成29年度 市道木下中村線舗装工事	株式会社マルサ建設	建設課
4	平成28年度 市道月山神社線道路美装化工事	ミノル工業株式会社	都市計画課
5	平成29年度 前郷墓園伐開整地工事	有限会社泉谷土木	都市計画課・ 生活環境課
6	増田まんが美術館大規模改修工事（建築工事）	創和建设株式会社	建築住宅課・ 増田まんが 美術館事業室
7	増田まんが美術館大規模改修工事（機械設備工事）	羽後設備・横手水道 増田まんが美術 館大規模改修工事（機械設備工事）特 定建設工事共同企業体	建築住宅課・ 増田まんが 美術館事業室
8	平鹿地域多目的総合施設建設工事（機械設備工事）	平鹿設備工業株式会社	建築住宅課・ 平鹿地域課
9	平鹿地域多目的総合施設建設工事（地中熱設備工事）	奥山ポーリング・山二施設・佐藤施設 平鹿地域多目的総合施設建設工事(地 中熱設備工事)特定建設工事共同企業 体	建築住宅課・ 平鹿地域課
10	旧大雄中学校校舎等解体工事	株式会社半田工務店	農業ブランド 創造課
11	平成29年度 平鹿石成地区管渠築造工事	有限会社 野崎建設	下水道課
12	平成29年度 横手伏山・六ノ口地区管渠築造工事	株式会社 柏建設	下水道課
13	横手南中学校統合大規模改造工事	横手建設株式会社	教育総務課

受賞工事名	平成29年度 市道牛ヶ沢猿田線舗装工事
受賞技術者名	米山 豊 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市大森町字鯨沼 地内	
請負者	住所	横手市前郷二番町7番13号
	商号	横手建設株式会社
	代表者	代表取締役 武茂 広行
請負金額	¥19,694,880.-	
工事期間	平成29年8月8日 ~ 平成29年10月31日	
概要	施工延長 L=800m 舗装打換え工 A=5,290㎡	

【表彰理由】

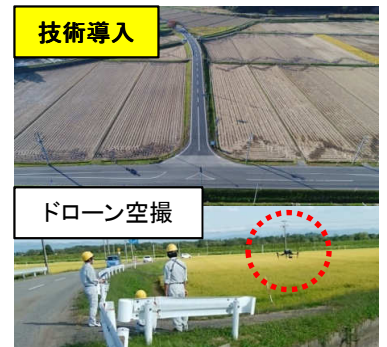
本工事は、主要地方道 大曲大森羽後線と横手大森大内線を結び路線であることから交通規制を行い、一般車両を通行させながらの施工であったが、トラブルもなく円滑に工事を完成させた。
 施工においては非破壊検査器を用いたAs密度管理や電子黒板及びドローンを用いた写真管理など最新技術を活用し、安全管理においては女性職員による安全パトロールを実施するなど独自の取り組みを行っている。また、舗装平坦性の成果数値は良い成果を示しており、全体の出来ばえも良い。



着工前



完成



技術導入
ドローン空撮



品質向上

超音波センサー



技術導入

電子黒板

工種	舗装工	密度測定器
仕様	非上	測定試験
設計仕様		
実用仕様		
工機名		

非破壊検査器



女性職員による安全パトロール



地域貢献

インターンシップ

【受賞にあたって一言】

このたびは優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。これもご指導を頂きました監督職員の皆様、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝を申し上げます。本工事の区域は、豪雨災害により各所で復旧作業が行われる中での工事となりましたが、交通事故・災害防止を重点課題として取組み、苦情等も無く無事故無災害で完成致しました。今後も安全第一、品質・技術の向上、地域社会の貢献に努めます。

受賞工事名	平成29年度 市道西原駅北線道路改良工事
受賞技術者名	坂脇 力 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市十文字町腕越字西原 地内			
請負者	住所	横手市南町20番12号		
	商号	ミノル工業株式会社		
	代表者	代表取締役 神谷 俊彦		
請負金額	¥39,381,120.-			
工事期間	平成29年10月11日 ～ 平成30年3月23日			
概要	施工延長	L=95.0m	擁壁工	L=8m
	カルバート工	L=37m	排水構造物工	L=163m
	下層路盤	A=732㎡	上層路盤	A=722㎡
	表層	A=713㎡	防護柵工	N=56組

【表彰理由】

冬期間の豪雪のため作業スペースの確保にも苦慮する状況であった中で、歩行者の通路確保を徹底して行ない、かつ女性の誘導員を配置して現場のイメージを良好に保った。

水路改修については、上流の増田地区からの流入が大幅に減少が見込まれたこと、湯水時期に併せての施工を行なったものだが、大型で流量も大きく落ち込むことにならず、相当な努力を強いられた。

舗装の肌ならびに平坦性の成果数値は良い成果を示しており、全体の出来ばえも良い。



【受賞にあたって一言】

本工事は、十文字駅に繋がる道路の拡幅工事でした。交通規制等、一般交通には多大な不便をおかけしましたが、歩行者の安全確保を最優先に努めました。冬期間の工事の為、コンクリート、アスファルト合材の温度管理に留意しました。

この受賞を励みに更なる安全意識の高揚と品質・技術向上に努め、地域に貢献していきたいと思っております。監督職員の皆様、工事に対してご理解とご協力いただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。

受賞工事名	平成29年度 市道木下中村線舗装工事
受賞技術者名	菅原 貴之 主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市十文字町谷地新田 地内	
請負者	住所	横手市十文字町睦合字川前139番地1
	商号	株式会社 マルサ建設
	代表者	代表取締役 佐藤 義美
請負金額	¥16,306,920.-	
工事期間	平成29年7月25日 ~ 平成29年10月31日	
概要	施工延長 L=684.7m 舗装打換え工 A=3,920㎡	

【表彰理由】

近隣小学校行事との調整のため、切削機による既存舗装版の撤去を提案・実施して、工程の短縮と精度の確保に資した。
 安全管理においては、学童の登下校の際は機械を止め誘導員が付き添って通過させた。とくに切削機が稼働している期間においては、学童に使い捨てのマスクを配布・装着させ、アスファルト粉塵の吸引防止に努めた。



着工前



完成



創意工夫

切削工で工程短縮



創意工夫

ベースペーパー工法



品質向上

高さ自動調整装置



技術導入

デジタルレベル・野帳アプリを活用



安全管理



児童が通行する際は、重機作業を止めて、マスクを配布して引率誘導を実施

【受賞にあたって一言】

このたびは、横手市優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。監督職員の皆様、ご協力をいただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。本工事は地域行事も開催される生活道路の舗装工事であり、工程短縮と品質向上を両立し安全確保に努める事を目標とし工程・工法・規制方法の協議を重ね、無事に完成することができました。この受賞を励みに安全・品質・技術の向上に努め、地域に貢献していきたいと思っております。

受賞工事名	平成28年度 市道月山神社線道路美装化工事
受賞技術者名	松田 怜 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市増田町増田字月山 地内	
請負者	住所	横手市南町20番12号
	商号	ミノル工業株式会社
	代表者	代表取締役 神谷 俊彦
請負金額	¥19,529,640.-	
工事期間	平成29年3月7日 ~ 平成29年7月12日	
概要	施工延長	L=201.8m
	半たわみ性舗装	A=816㎡
	排水構造物	L=195m

【表彰理由】

非常に狭い道であったため通行止めを伴ったが、住民説明会、意見投書箱の設置などを行い、円滑に工事を完成させた。ごみ集積所の水たまりの解消、お祭りののぼり用の鞆の設置、桜並木の剪定・消毒など、投書箱の要望に多岐にわたり応じ、まさに地元密着の施工であった。路盤工において安全・施工・品質性で従来工法より優れたベースパーバ工法を提案したり、境界ブロック目地のコーキングやバックアップ材充填によるひび割れ防止を実施するなど、出来形・品質の向上と長寿命化を図っている。



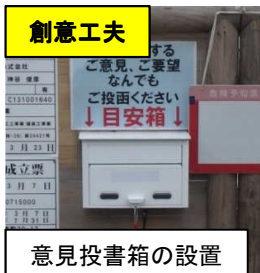
着工前



完成



ごみ集積所の水たまり解消
地域貢献



創意工夫

意見投書箱の設置



住民のための仮設駐車場

地域貢献



地域貢献

桜並木の剪定・アメシロ消毒



境界ブロックの目地コーキング

品質向上



バックアップ材充填

品質向上



品質向上

ベースパーバ工法による路盤工

【受賞にあたって一言】

観光名所である蔵の街増田での施工であり、本工事最大のコンセプトである道路の美装化に重点を置き施工しました。また、半たわみ性舗装の施工は当社職員の大半が未経験でしたが、会社を挙げて練習を積み重ね、無事終わる事ができました。工事中は規制により近隣住民様へのご負担を余儀なくされましたが、ご理解ご協力をいただきスムーズな現場進行ができました。横手市民として、この事業に技術者として携われた事を誇りに思います。

受賞工事名	平成29年度 前郷墓園伐開整地工事
受賞技術者名	佐々木 拓也 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市前郷字兀山 地内	
請負者	住所	横手市平鹿町浅舞字蔭沼212番地1
	商号	有限会社 泉谷土木
	代表者	代表取締役 泉谷 悟
請負金額	¥40,755,960.-	
工事期間	平成29年6月23日 ~ 平成29年11月27日	
概要	伐開整地	A=10,000㎡
	掘削工	V=16,100㎡
	盛土工	V=14,800㎡
	法面整形(盛土部)	A=1,750㎡

【表彰理由】

転圧回数の異なる試験盛土を行い最適な締固め度で施工したり、現場に現場密度試験等の機材を持ち込み自社で試験する等、品質や作業効率を上げる取り組みを行ったほか、盛土内の湧水対策としてフィルター材や暗渠管で法面下部に排出し、沈澱池を通して近くの沢目に流れ込むようにするなど工夫を行っている。地域住民への定期的な工事広報の配布、県道の美化活動、墓園内の縁石の欠損補修、危険箇所への立入り禁止措置として環境適応型ネットの設置など、地域と施設利用者への配慮が見られた。



【受賞にあたって一言】

この度は、横手市優良工事表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。
 本工事において最も課題となっていたのが、秋雨～降雪期を控えた土工事でありました。
 その為、完工目標を【設定工期マイナス1ヵ月】として、掘削連土盛土計画を綿密に行い、実行した結果、無事に目標を達成する事が出来ました。これもひとえに監督員のご指導と工事関係各位の多大なるご協力のたまものであると深く感謝申し上げます。

受賞工事名	増田まんが美術館大規模改修工事（建築工事）	
受賞技術者名	後藤 喜顕	現場代理人兼監理技術者

【工事概要】

施工場所	横手市増田町増田字新町285番地	
請負者	住所	横手市駅前町13番8号
	商号	創和建设株式会社
	代表者	代表取締役社長 小原 朗
請負金額	¥135,463,320.-	
工事期間	平成29年7月19日 ～ 平成30年3月20日	
概要	平成7年に建築された増田ふれあいプラザをマンガに特化した施設にするための大規模改修工事 内部の解体及び新築工事とコンベンションホールの天井脱落対策工事を行うもの	

【表彰理由】

関連する他の工事との調整では中心的役割を果たした。床のクラック等の想定外の事態に対しても、設計者等と迅速に協議を行うなど余裕のある工程管理を行った。県内事例が少ないホールの天井脱落対策工事では、設計者やメーカーと施工方法や施工後の安全対策も十分に調整が行われた。自主的に雨漏り部分を調査しアスファルト防水等で応急処置を施すなどの創意工夫が見られ、高校生や住民の見学会を行い工事と美術館のPRを行うなど地域貢献の取組みも多く見られた。



【受賞にあたって一言】

このたびは荣誉ある賞を賜り誠にありがとうございます。これもひとえに監督職員をはじめ皆様のご協力があったることと感謝申し上げます。

施工にあたっては、美術館の改修という観点から、現建物の調査と修繕、仕上げの品質確保に努め、より多くの方が利用される施設になることを目指しました。

今回の受賞を励みに、今後もより一層の努力をして参りたいと思います。

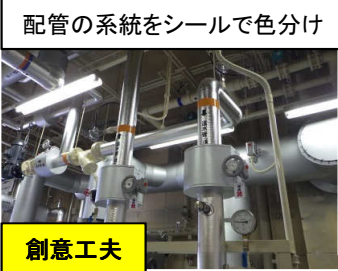





受賞工事名	増田まんが美術館大規模改修工事（機械設備工事）
受賞技術者名	小川 匡 現場代理人兼監理技術者

【工事概要】

施工場所	横手市増田町増田字新町285番地	
請負者	商号	羽後設備・横手水道 増田まんが美術館大規模改修工事（機械設備工事） 特定建設工事共同企業体
	構成	代表 羽後設備株式会社 県南支店 支店長 京野 伸彦 横手水道工業株式会社 代表取締役 栗林 徹
	技術者	現場代理人兼監理技術者 羽後設備株式会社 県南支店 小川 匡 主任技術者 横手水道工業株式会社 栗林 秀行
請負金額	¥147,960,000.-	
工事期間	平成29年7月19日 ～ 平成30年3月20日	
概要	平成7年に建築された増田ふれあいプラザをマンガに特化した施設にするための大規模改修工事の機械設備工事 内部の機械設備の撤去及び新設工事を行うもの	

【表彰理由】

建築工事や展示工事と工種をまたいで提案、助言等を出し合い効果的な工事を遂行した。給水弁の腐食による漏水等の想定外の事態にも、設計者等と迅速に調整を行うなど余裕のある工程管理を行った。施工後のメンテナンスを考慮した設計の提案のほか、企業努力により機器類の表示の色分けやメンテナンス水栓の取付などの配慮が随所に施された。湿度管理が重要な施設であるため、類似施設の管理データ調査を行い、空調機器の試運転を重ねデータ収集し、今後の運用指標となる報告書をまとめあげた。

 <p>配管の系統をシールで色分け</p> <p>創意工夫</p>		 <p>ライン・ポンプ等の機器類名の表示</p> <p>創意工夫</p>
 <p>創意工夫</p>		
<p>漏水トラブルを避けるため、全熱交換型換気扇の加湿用排水とファンコイルユニットの排水は別系統に分離。全熱交換型換気扇の排水は、既存の汚水桝を浸透桝に改造して排出。</p>		
 <p>地下ピット内満水警報表示を設置</p> <p>創意工夫</p>	 <p>屋外ガス給湯器に防雪屋根を設置</p> <p>創意工夫</p>	 <p>メンテナンス用水栓を設置</p> <p>創意工夫</p>

【受賞にあたって一言】

この度は栄誉ある優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。
ご指導頂いた監督職員の方々、並びに工事関係者の皆様に感謝、御礼申し上げます。
空調設備改修については、操作・監視を事務室での集中制御方式とし、利便性、保守管理が容易なシステムに仕上げる事ができました。又、工事関係者の皆様と協力し合い無事故無災害で終える事ができ嬉しく思います。今後も安全意識と品質の向上を目指し、より一層の努力に励みたいと思います。

受賞工事名	平鹿地域多目的総合施設建設工事（機械設備工事）
受賞技術者名	谷藤 隆 現場代理人兼監理技術者

【工事概要】

施工場所	横手市平鹿町浅舞字覚町後138番地 地内	
請負者	住所	横手市平鹿町上吉田字車長根22番地1
	商号	平鹿設備工業株式会社
	代表者	代表取締役 中嶋 吉美
請負金額	¥82,398,600.-	
工事期間	平成28年10月5日 ～ 平成29年8月31日	
概要	平鹿地域多目的総合施設の機械設備工事 冷暖房設備工事、換気設置工事、自動制御設備工事、衛生器具設備工事、給水設備工事、給湯設備工事、排水通水設備工事、ガス設備工事、融雪設備工事	

【表彰理由】

冬期間を含む工程だったが、品質、出来ばえとも十分であり、安全対策、創意工夫、より良い作業環境の構築、地元への貢献にも意欲的に取り組んだ。
 施工品質の確保として、耐震性等に配慮した部材を採用し、工法も従来の規定値よりも厳しい社内規定等を採用した。
 災害時にもライフラインを確保できるよう独自に考慮して施工を行っている。



平鹿地域多目的総合施設







完成(屋上受水槽)



チャレンジデーに参加



品質向上



社内検査



施工状況

低振動・低騒音型重機の使用



天井給水管の配管



地震・火災対策

屋上受水槽廻り配管



渡り廊下の冷温水配管

【受賞にあたって一言】

このたび、栄誉ある賞を賜り誠にありがとうございます。本工事は地域住民の拠点であり災害時の避難場所となるため、ライフラインを確保できるよう監督員はじめ工事関係者様と作業間調整を行うとともに、施工品質の確保として社内規格値を重要管理目標に掲げ工事を進めました。今回の表彰を励みに、市の地域社会に貢献できるよう安全・環境に配慮して、これからも技術向上に努力して無災害に努めます。

受賞工事名	平鹿地域多目的総合施設建設工事（地中熱設備工事）
受賞技術者名	芦沢 保則 現場代理人兼監理技術者

【工事概要】

施工場所	横手市平鹿町浅舞字賞町後138番地 地内	
請負者	商号	奥山ボーリング・山二施設・佐藤施設 平鹿地域多目的総合施設建設工事（地中熱設備工事）特定建設工事共同企業体
	構成	代表 奥山ボーリング株式会社 代表取締役 奥山 信吾 山二施設工業株式会社 横手支店 支店長 齋藤 政志 佐藤施設工業株式会社 代表取締役 佐藤 和博
	技術者	現場代理人兼監理技術者 奥山ボーリング株式会社 芦沢 保則 主任技術者 山二施設工業株式会社 横手支店 佐々木 猛志 主任技術者 佐藤施設工業株式会社 矢野 貴志
請負金額	¥112,320,000.-	
工事期間	平成28年9月29日 ～ 平成29年8月31日	
概要	平鹿地域多目的総合施設の地中熱ヒートポンプ設備を利用した冷暖房空調等設備工事 機器設備工事、交換井設置工事、熱源配管設備工事、冷温水配管設備工事 給排水配管設備工事、自動制御配線設備工事	

【表彰理由】

当市初の大規模施設に地中熱を採用した設備工事であった。現場においては他の各種工事が並行して行われ、日程調整のための工程管理がよく検討されており施工管理が優れていた。

不可視部分の写真の整理や埋設部配管や隠ぺい部においては、こまやかな寸法計測等により施工管理が徹底された。また、作業員の体調の管理も行き届き熱中症対策や健康体操など作業安全面での工夫もみられた。



平鹿地域多目的総合施設







完成(内部)





創意工夫
女性職員による現場パトロール



ボーリングマシン(交換井設置)



横引き配管

【受賞にあたって一言】

この度は、栄誉ある賞を賜り誠にありがとうございます。
本工事は地下100mまでボーリングを行い、地中の熱エネルギーを取り出して庁舎の冷暖房に利用するものでした。工事では、国内でも数少ない特殊なボーリングマシンを2台導入し、冬季における配管施工の品質向上と近接工事との工程調整に留意して無事に完成することができました。最後に、地元横手に貢献する機会を与えて頂いた皆様と、共に汗を流した皆様に感謝申し上げます。

受賞工事名	旧大雄中学校校舎等解体工事	
受賞技術者名	梅澤 浩	現場代理人兼主任技術者

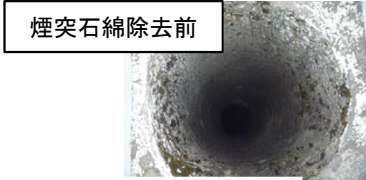
【工事概要】

施工場所	横手市大雄字狐塚 地内	
請負者	住所	横手市安田字堰端9番地1
	商号	株式会社 半田工務店
	代表者	代表取締役 半田 志保子
請負金額	¥126,944,280.-	
工事期間	平成29年5月16日 ~ 平成30年3月23日	
概要	普通教室棟解体、渡り廊下（W・RC・S造）解体、屋内運動場棟一部解体、プール及び付属棟解体、外構工作物撤去、屋内運動場棟改修、大雄コミュニティ交流センター棟改修、特別教室棟仮設養生、渡り廊下（W造）改修、普通教室棟煙突石綿除去、普通教室棟内外装石綿除去	

【表彰理由】

煙突の石綿除去では、高圧ウォータージェット除去法による飛散対策や養生シートの内側をコンパネで補強した高所の強風対策が行われた。追加工事の外壁の石綿除去では、既に窓枠を撤去していたため、校舎内側に栈木で養生の下地を作る工夫をしている。

また、自主的に石綿分析調査を行い、その結果、渡り廊下部分から石綿が検出されなかったため、施工範囲を縮小することができ工事費の削減に繋がった。

 <p>着工前</p>	 <p>完成</p>	 <p>安全管理</p> <p>煙突養生をコンパネで補強</p>
 <p>創意工夫</p> <p>壁開口部に養生固定用栈木設置</p>	 <p>煙突石綿除去前</p>  <p>高圧ウォータージェット除去法</p>  <p>除去後</p>	 <p>創意工夫</p> <p>自主的な石綿分析調査実施</p>

【受賞にあたって一言】

このたびは表彰の栄誉を賜りありがとうございます。これもご指導いただいた監督職員の方々や地域住民のご理解ご協力を頂戴した賜物であると心より感謝申し上げます。

本工事は、横手市の未来につながる、農業創生大学事業として旧大雄中学校の解体及び既存建物の改修工事を『安全第一』『アスベスト完全除去』を徹底し、施工致しました。

今後もより一層技術の向上を目指し、地域社会に貢献できるよう努力して行きます。

受賞工事名	平成29年度 平鹿石成地区管渠築造工事
受賞技術者名	柴田 亮 主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市平鹿町醍醐字街道上 地内 外	
請負者	住所	横手市山内三又字本田48番地
	商号	有限会社 野崎建設
	代表者	代表取締役 野崎 秋夫
請負金額	¥17,585,640.-	
工事期間	平成29年8月1日 ~ 平成30年3月28日	
概要	路線延長 L=148.28m 管布設工 (PRPφ150mm) L=145.13m マンホール工 (1号) N=2箇所 取付管及び柵工 N=8箇所 付帯工 N=1式	

【表彰理由】

国道改良工事に併せて施工される管渠敷設工事であり、関連工事（道路工事・水道工事）との工程調整が厳しい工事であったがトラブルもなく、さらに精密な出来形を確保した。
 また、書類整理においては、管理資料の電子データ化や、現場条件に応じた自発的提案を多く実施するなど優れた取り組みも見られた。



【受賞にあたって一言】

この度は、優良工事表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。
 本工事は、国道拡幅工事と水道管移設工事との同時施工現場でありました。関係施工業者間にて安全連絡協議会を発足し、相互に協力の上、安全に且つ工期限内に工事完成となりました。
 今回の受賞を励みに、更なる安全・品質・技術の向上に努め、地域社会に貢献していきたいと思っております。

受賞工事名	平成29年度 横手伏山・六ノ口地区管渠築造工事
受賞技術者名	松井 勝昭 主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市横手町字六ノ口地内 外		
請負者	住所	横手市大雄字八柏中村東9番地	
	商号	株式会社 柏建設	
	代表者	代表取締役 鈴木 賢一	
請負金額	¥39,368,160.-		
工事期間	平成29年7月11日 ~ 平成30年1月31日		
概要	路線延長 L=348.99m 管布設工 (PRPφ200mm) L=338.79m マンホール工 (1号) N=7箇所 小型マンホール工 (レジン) N=3箇所 取付管及び柵工 N=25箇所 付帯工 N=1式		

【表彰理由】

別工事に現場を引き継ぐ際に土留材を残置しておくことで、本工事の埋戻し材の崩れを防止した。その他にも仮復旧舗装の剥離等を減らすため、設計よりも丈夫な再生密粒度t=50mmで実施、バックホウにアラウンドビューモニタを装備、ハシゴ転倒等防止のため建込簡易土留専用ハシゴを使用、掘削穴への転落防止のため建込簡易土留専用転落防止柵を設置、交通開放を行う際に夜間も敷鉄板が認知しやすいようにエコモーションライトを設置するなど多くの安全対策を実施している。



創意工夫

同一箇所の他工事に土留め材を残置したまま引き継ぎ、本工事の埋戻し材が崩れることを防止



仮復旧舗装の剥離等防止



シーティング専用はしご



シーティング専用転落防止柵



バックホウにアラウンドビューモニタを装備



安全看板にエコモーションライトを設置

【受賞にあたって一言】

この度は、優良工事表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。現場は交通量が多い住宅密集地で、また他工事と重複する現場でしたので、安全対策と工程管理に重点を置き施工しました。無事完成することができましたのも、監督職員の方々をはじめ、関係各位様、地域住民様のご理解とご協力によるものと心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、更なる安全・品質・技術の向上に努め、地域社会に貢献していきたいと思っております。

受賞工事名	横手南中学校統合大規模改造工事	
受賞技術者名	工藤 一貫	現場代理人兼監理技術者

【工事概要】

施工場所	横手市赤坂字郷土館32番地1 地内	
請負者	住所	横手市前郷二番町7番13号
	商号	横手建設株式会社
	代表者	代表取締役 武茂 広行
請負金額	¥89,640,000.-	
工事期間	平成29年7月11日 ～ 平成29年10月10日	
概要	山内中学校と横手南中学校の統合に伴う大規模改造工事 屋内運動場棟（天井・壁仕上げ工事、外部建具工事、自動火災報知設備） 普通教室棟（昇降口工事、普通教室工事） 渡り廊下（屋根工事）	

【表彰理由】

体育館の直張り天井システムの施工前に原寸模型を作成することで、天井材や接合部の耐衝撃性などの確認を可能にし、今後の使用でどのような劣化が現れるか目視できたのは、将来の維持管理の参考になった。屋内作業の熱中症対策として冷水器・製氷機を設置し、作業場に送風機を設置するなど作業員の健康・安全管理を万全な体制で行っている。また、インターンシップを4回、南中生の現場見学会を2回、さらに「よこて建設女子会」の現場視察を受け入れるなど建設業のPRに貢献している。



着工前(屋内運動場棟)



完成(屋内運動場棟)



完成(普通教室棟)



創意工夫

原寸模型の作成



安全管理

冷水器・製氷器の設置



安全管理

送風機の設置



地域貢献

インターンシップ



地域貢献

よこて建設女子会

【受賞にあたって一言】

この度は優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。監督職員の皆様、工事に対してご協力いただいた横手南中学校の皆様へ感謝申し上げます。本工事では体育館天井システムの品質、安全確保に重点を置き、原寸模型を作成するなどの工夫を図りました。また、南中生に対し建設業に興味を持ってもらうために工事途中に現場見学会を実施しました。今回の受賞を励みに、更なる技術力の向上に努めてまいります。

横手市優良工事表彰要綱

(目的)

第1条 この告示は、市が発注した建設工事のうち特に優れたものを施工した請負業者及び技術者を表彰することにより、その建設技術の向上を図り、もって市における工事の品質の向上及び適正な施工に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この告示において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 建設業法（昭和24年法律第100号。以下「法」という。）第2条第1項の建設工事
- (2) 請負業者 法第2条第3項の建設業者で、市が発注した建設工事を請け負ったもの
- (3) 現場代理人 法第19条の2第1項の現場代理人
- (4) 主任技術者 法第26条第1項の主任技術者
- (5) 監理技術者 法第26条第2項の監理技術者

(表彰の種類)

第3条 表彰の種類は、次のとおりとする。

- (1) 優良工事表彰
- (2) 優良技術者表彰

(優良工事表彰の対象)

第4条 優良工事表彰の対象となる建設工事（以下「優良工事」という。）は、次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 表彰を実施する年度の前年度（以下「表彰対象年度」という。）に完成し、かつ、1件の請負金額が300万円以上のもの
- (2) 横手市工事成績評定要領（平成17年横手市訓令第48号）に基づく評定において「優れた工事」と評価されたもの

(優良技術者表彰の対象)

第5条 優良技術者表彰の対象者（以下「優良技術者」という。）は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 優良工事に係る現場代理人、主任技術者及び監理技術者のうち、工事監督の中心となった者
- (2) 表彰対象年度の3月31日現在において優良工事の請負業者に2年以上継続して勤務している者
- (3) 表彰日現在において当該請負業者に雇用されている者

(推薦)

第6条 建設工事を主管した課室所等の長は、優良工事のうち他の模範となる取組みを行ったと認められるものについて、優良工事推薦調書（別記様式）により次条の審査委員会に推薦するものとする。

(審査委員会)

第7条 前条の規定により推薦された優良工事について客観的に審査を行い、優良工事表彰及び優良技術者表彰の候補者を選考するため、横手市優良工事表彰審査委員会（以下「審査委員会」という。）を置く。

2 審査委員会は、副市長、総務部長、農林部長、建設部長、上下水道部長及び契約検査課長をもって組織する。

(委員長及び副委員長)

第8条 審査委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は、横手市副市長事務担任規程（平成19年横手市訓令第16号）に規定する総務部に属する事務を担当する副市長をもって充てる。

- 2 副委員長は、総務部長をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第9条 審査委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 審査委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 審査委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(表彰候補者の報告)

第10条 委員長は、審査の結果に基づき、表彰候補者を市長に報告しなければならない。

(表彰)

第11条 市長は、前条の報告に基づき、被表彰者を決定するものとする。

- 2 表彰は、毎年9月末までに市長が行う。
- 3 被表彰者に対しては、表彰状を授与する。

(表彰の取消し)

第12条 市長は、被表彰者が次の各号のいずれかに該当する場合は、表彰を取り消すことができる。

- (1) この告示に基づいて表彰を行った建設工事（以下「表彰工事」という。）において瑕疵があったとき。
- (2) 表彰工事に関して損害賠償請求事由が発生したとき。
- (3) 表彰工事の請負業者が法令違反等により処分を受けたとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が表彰にふさわしくない行為があると認めたとき。

(庶務)

第13条 審査委員会等の庶務は、契約検査課において処理する。

(その他)

第14条 この告示に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この告示は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成26年4月1日告示第65号）

この告示は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年4月1日告示第78号）

この告示は、平成27年4月1日から施行する。

横手市優良工事表彰審査委員会

事務局 契約検査課

